

平成 27 年度事業報告

社会福祉法人 豊延会

障がい者支援施設
イシノ療護園

平成 27 年度 事業報告書

I. 行事・研修・防災・健康面に関して

月 日	事 業 名	報 告
04/01	観桜会	AM・PM 通じて、少人数対応にて、太田市末広公園まで外出し、桜見学を実施する。昼食は、施設にて花見メニュー（稲荷寿司・海苔巻き寿司）を食す。
04/09	施設開設 30+1 周年パーティ	施設開設 31 年を祝うと共に、開所当初からの長期利用者を労う。昼食には、赤飯・オードブル・紅白饅頭を食す。アトラクションとして、「上州大泉住吉ひよっこ社中」を招き、ひよっこ踊りを鑑賞する。
04/23	ねずみ・ゴキブリ防除作業	調理室・食堂・調理室外周りのねずみやゴキブリの防除作業を実施し、衛生面の向上を図る。
05/07・13	端午の節句会	05/07 には、利用者 16 名を館林市鶴生田川のこいのぼりの里祭りを見学しに行く。 13 日は、端午の節句にちなんで、レクレーションとしてチャンバラゲーム・壁画制作を実施する。
	利用者 X 線検査	65 歳以上の利用者を対象に X 線検査を実施し、体調管理を図る。
	大泉町社会福祉協議会評議委員会	大泉町社会福祉協議会評議員会に職員 1 名派遣し、社会福祉協議会や地域の社会資源との連携を図る。
05/13～14	群身協施設長等拡大会議・第三者評価研修会	施設長会議では、群身協の事業報告・計画等の会議が実施される。第三者評価研修会では、支援職員を中心に第三者評価や共通評価基準作成に関して演習等を実施される。

		施設長のほか、職員 2 名参加する。
05 / 15 ・ 06 / 15 ・ 08 / 06	県社協新任職員研修会	若手職員 1 名派遣し、施設職員としての知識・技術の向上を図る。
05 / 19	ゴキブリ防除作業	調理室・食堂・調理室外周りのゴキブリの防除作業を実施し、衛生面の向上を図る。
05 / 20	車椅子ダンス	車椅子ダンス普及会講師を招き、レクレーション活動として、車椅子ダンスを実施する。利用者・職員共に触れ合う楽しさを感じる。
05 / 27	喫茶会	喫茶活動として、職員がホットケーキを作り、喫茶店の雰囲気を味わいながら、食す。
05 / 27 ・ 29	施設内研修会	利用者に対しての声掛けについて人権に配慮した方法を演習方式にて学び、接遇の向上を図る。
06 / 01 ・ 12	施設内研修会	大塚製薬より職員を派遣していただき、脱水予防と経口補水液 OS-1 の使用に関して、講義形式の研修を実施する。
06 / 05	ぐんま環境適合研究会	「車いすシーティング入門～仙骨すわり、斜め座り、円背姿勢の評価とアプローチ」をテーマとして、群馬大学にて群馬大学大学院保健学研究科の亀ヶ谷忠彦氏の抗議・実技の研修会が実施され、PT1 名が参加する。
06 / 07	大泉町高齢者・身体障害者スポーツ大会	いずみ総合体育館にて大泉町高齢者・身体障害者スポーツ大会が開催され、例年と同様、魚釣り競争・スプーンレース・車椅子スラローム等の競技に利用者 8 名参加し、地域住民や在宅障害者等との交流を図る。
06 / 17	はるかぜ荘との交流会	交流会として、はるかぜ荘にて実施されるスポーツ競技「ボッチャ競技」に利用者 3 名参加する。競技に見学・参加を通じて、はるかぜ荘の利用者と交流を図ることが出来た。

06/17	消防消火栓消火器 取扱い研修会	太田市中央消防署にて、消防消火栓消火器取扱い研修会が実施され、新人職員 2 名が参加する。
06/19	大泉町立南小学校 施設見学	大泉町立南小学校 6 年生の生徒や教職員約 30 名が来園し、イシノ療護園やライフサポート・イシノを見学する。見学や質疑応答などにより、福祉についての理解がなされた。
06/20	西中学校体育祭	西中学校の体育祭に招かれ、利用者 27 名の見学を実施する。また、そのうち 3 名の利用者が車椅子リレーに参加する。
06/24	ハーモニカ演奏会	東毛地区を中心にボランティア活動を実施しているハーモニカ演奏者堀江 宏氏を招き、音楽活動としてハーモニカ演奏会を実施する。同様な曲を聞かしてもらい、懐かしく感じていた利用者がいた。
06/25	太陽の家防災訓練	救護施設太陽の家の防災訓練に地域協力員として職員 1 名参加する。
06/30	防災連絡訓練	夜間の非常時を想定とし、防災連絡網を使用し、施設への連絡訓練を実施する。約 30 分で連絡が行き渡る。
07/01	群身協リハビリ部 会研修会	イシノ療護園が群身協施設職員を招き、AM には、イシノ療護園や法人各施設の見学会、PM には、大泉町保健福祉総合センターにて、リハビリに関する事例発表や課題検討会が実施される。職員 4 名参加する。
07/01	消防 AED 取扱い研 修	太田市消防本部にて AED 取扱い研修会が実施され、新人職員 2 名が参加する。
07/02・ 21、08/ 19	県社協中堅職員研 修会Ⅱ	中堅職員研修が 3 日間実施され、職員 1 名派遣する。福祉サービスの理念・動向、相談技術、チームワークについて講習・演習が実施

		され、支援技術の向上に努める。
07/08	七夕&流しそうめん	予め 07/01 に、各棟にて七夕の飾り付けを実施する。07/08 には、利用者が織姫や彦星の衣装を着用し、写真撮影を実施する。PM には、食堂にて流しそうめん機を使用し、流しそうめんを楽しむ。
07/09～ 10	全国身体障害者支援施設協議会全国研修会	仙台市にて、全国の障害者支援施設の職員が集い、福祉の流れ・支援のあり方、地域支援等について研究討議を実施する。職員 3 名が参加する。
07/08	大泉保育福祉専門学校生施設見学	大泉保育福祉専門学校 1 年生 31 名程、施設見学に来園する。施設内の見学の外、質疑応答にて、施設の支援や利用者の状況等について理解を図る。
07/14	太田高等養護学校保護者会	相談支援員 2 名が、太田高等養護学校保護者会に参加し、相談支援について保護者からの質問等に対応する。
07/15	スイカ割り	棟毎にスイカ割りを実施する。比較的スムーズにスイカを割ることが出来てしまい、物足りなさを感じたが、利用者は楽しむことができたようである。その後、割ったスイカを利用者に配り、食す。
07/21	施設内研修	ショートステイ利用者の事例に基づき、知的障がい者の支援について演習形式にて研修を実施する。
07/21	害虫防除作業	業者にて調理室内外のゴキブリ等の害虫防除作業を実施し、衛生面の向上を図る。
07/22	弾き語りライブ会	支援職員金谷（空谷 碑路）によるギターの弾き語りライブを実施し、童謡・歌謡曲や斉藤和義の曲等を演奏してもらい、利用者には講評だった。

07/26	大泉まつり、子供みこし来園	大泉まつりにて寄木戸地区の子供によるみこしや屋台が来園する。太鼓や鐘による祭囃子を鑑賞する。
07/28～ 29・11/ 04・12/ 15～16	相談支援従事者現任研修 サービス管理責任者等研修会 (生活介護)	祉サービスを適切かつ円滑に運営出来る様、サービスの質の確保に必要な知識や技能を有するサービス管理責任者の養成を図る為、職員1名参加する。なお、12/15～16には、同研修生活介護分野にて補助指導者として職員1名派遣する。
07/30・ 08/03	職員健康診断	施設職員の定期健康診断を実施し、健康管理を図る。
08/04～ 05	南中学校生福祉体験受入れ	大泉町立南中学校より生徒が来園し、車椅子清掃や車椅子乗車体験を実施し、障害者理解を図る。
08/05～ 06	群身協職員研修会	群馬県内や隣県の身障施設職員（施設長・介護職員・看護師・栄養士・調理員）が渋川市にて集い、利用者支援の取組みについて研究・発表を実施する。職員5名参加する。イシノ療護園においては、調理員による利用者食事提供支援に関しての発表報告を実施する。
08/21	館林高等特別支援学校ネットワーク会議	館林市郷谷公民館にて、相談支援事業所・福祉サービス提供事業所を招き、在学生の進路相談等を実施する。相談支援員1名参加する。
08/22	第32回納涼祭	施設園庭にてボランティア、地域住民等の多数の参加を得て、盛大に開催する。民謡・民舞の演目を楽しむと共に地域住民との触れ合いを図る。
08/24～ 25	消防用設備点検	業者にて自動火災報知機やスプリンクラー設備等の消防設備の点検を実施する。
08/26	喫茶会	利用者のニーズに応え、アイス（ガリガリ君）

		を購入・提供し、食堂にて食す。今回は、数種類のガリガリ君を用意し、利用者に好きなガリガリ君を選択してもらい、かき氷にして食べることにした。
09/04	障害者の地域生活を考えるシンポジウム会	県社協にて「障害者の地域生活を考えるシンポジウム会」が実施され、相談支援員2名が参加する。
09/04	ぐんま環境適合研究会	「ベッド上ポジショニング入門～臥位・側臥位・ギャッチアップ座位のポジショニング技術」をテーマとして、群馬大学にて群馬大学大学院保健学研究科の亀ヶ谷忠彦氏の抗議・実技の研修会が実施され、PT1名が参加する。
09/09	喫茶会	職員がアイスフロートを作り、利用者に提供する。数種類の飲み物から利用者に選択してもらい、その上にバニラアイスを載せて提供する。
09/16	体育祭	利用者様の高齢化・障害の重度化に伴い、食堂にて実施する。利用者・職員を紅白に分けて、すごろく競争・大玉転がし・ボール運びリレー・玉入れ・パン喰い競争・仮装競走等の各種目にて競い合い、楽しむ。
09/24・28	施設内研修	オフィスアドバンスより講師鈴木道子氏を招き、接遇の向上を目的とし、「コミュニケーションの取り方」について講演を実施する。
09/30	防災総合訓練	消防職員を招き、地震による火災発生想定での防災訓練を実施し、防災意識の高揚を図る。
10/01	大泉町人権教育指導者養成講座	大泉町教育委員会・人権教育推進委員会主催の人権問題に関する講演に参加する職員1名参加する。
10/05・15	県社協指導的職員研修会 I	社会福祉現場におけるスーパービジョンに関する講義・演習を通じて資質の向上を図る

		と共に、指導的職員としての技術や知識の習得を図る。支援職員 1 名参加する。
10/07	車椅子ダンス	車椅子ダンス普及会講師 2 名を招き、レクリエーション活動として、車椅子ダンスを実施する。利用者・職員共に触れ合う楽しさを感じる。
10/08～09	関東甲信越地区身体障害者施設協議会施設職員研修会	茨城県つくば市にて、サービスの質の向上をテーマとしたシンポジウムや実践報告会に職員 3 名参加する。
10/08～14	ねずみ・ゴキブリ防除作業	調理室・食堂・調理室外周りのねずみやゴキブリの防除作業を実施し、衛生面の向上を図る。
10/12・14・15	ゲーム大会	利用者自治会主体にてゲーム大会を実施する。卓上玉入れゲームを実施し、利用者間の交流が図られる。
10/13・16	施設内研修	(株)シーエムエスの講師 1 名を招き、インフルエンザやノロウイルス等の感染症予防についての講演会を実施し、療護園やライフサポート・イシノの職員が参加する。
10/14	アニマルセラピー	癒しの活動として、ドッグトレーニング ELF にて犬 3 頭派遣し、利用者が犬と触れ合う機会が得られ、精神的な面での安定を図る。
10/20	大泉町人権教育指導者養成講座	大泉町教育委員会・人権教育推進委員会主催の人権問題に関する講演に参加する職員 1 名参加する。
10/20	ねずみ・ゴキブリ防除作業	調理室・食堂・調理室外周りのねずみやゴキブリの防除作業を実施し、衛生面の向上を図る。
10/25	群馬県理学療法士学会	太田市休泊行政センターにて、群馬大学大学院医療系研究科の斎藤繁氏を招いて「高齢化

		社会における慢性疼痛治療トレンド」をテーマとした講演や、シンポジウムが実施され、PT1名が参加する。
10/26	はるかぜ荘との交流会	花リハビリの活動時に、はるかぜ荘の利用者3名を招き、花リハビリの活動を実施する。作品制作と共にはるかぜ荘の利用者との交流を楽しむ。
10/29	群身協職員研修会 (施設見学)	前橋市青空を会場とし、群馬県内の障害者支援施設の職員が集まり、青空の施設見学や支援のグループ討議等の研修が実施される。職員3名参加する。
11/05	長谷川歯科医院主催特別講演会	太田市学習文化センターにて、東京医科歯科大学深山治久氏を招き、「在宅及び施設入所者の偶発事故予防と起きてしまった時の対応」をテーマとした講演会が実施され、職員3名が参加する。
11/05・12	インフルエンザ予防接種	利用者・職員全員を対象とし、インフルエンザ予防接種を実施し、施設内感染を予防する。
11/12	町ぐるみ人権教育推進大会	人権問題に関して、戦場カメラマン・ジャーナリストの渡辺陽一氏による「ファインダー越しに見た命の現場」をテーマにした講演が実施され、職員2名が参加する。
11/13	災害福祉広域支援ネットワーク構築にかかわる研修会	群馬県公社総合ビルにて、「災害福祉広域支援ネットワークの構築」をテーマに、(株)富士通総研の名取直美氏の講演が実施され、職員2名が参加する。
11/18	沖縄三線と伝統芸能ライブ	群馬県職員中嶋一仁氏を招き、沖縄の伝統楽器三線の演奏ライブを実施する。利用者は普段聴き慣れない沖縄の三線の音色に穏やかな気分になる。
11/21～	大泉町保健福祉祭	大泉町主催による保健福祉祭に、施設紹介や

22		利用者の作品展示などにて参加を図り、地域住民との交流の場を提供する。利用者は、家族や職員の付添いの元で、見学する。
11/24	AED 取扱い研修	太田市消防本部にて救命や AED 取扱いに関する講習が実施され、職員 2 名が参加する。
12/02	みよし幼稚園慰問	みよし幼稚園児による遊戯や歌の慰問があり、利用者は楽しむ。
12/02	群馬県理学療法士協会研修	太田市医療技術専門学校にて、群馬県理学療法士協会第 1 回東毛ブロック施設代表者会議が実施され、PT1 名が参加し、グループディスカッション等の研修を受ける。
12/08	群馬県障害者作品展	県庁にて、日中活動で制作した藍染めや書道等の作品を展示し、県民の方々に披露する。利用者 1 名、職員 1 名にて作品展に参加する。 (12/04：作品搬入、12/08：作品搬出)
12/09	車椅子ダンス	車椅子ダンス普及会講師数名を招き、レクリエーション活動として、車椅子ダンスを実施する。利用者・職員共に触れ合う楽しさを感じる。
12/09～10	群療協施設長・事務担当者・支援課長（サビ管）会議	障害者福祉の最近の動向や、各施設においての状況報告や課題等について研究・討議を実施する。職員 3 名参加する。
12/15	施設見学	山梨県障害者支援施設麦の家の職員 10 名程、見学目的にて来園する。その際、職員との意見交換をも実施する。
12/16	利用者忘年会 & クリスマス会	1 年間お世話になったボランティアを招き、寿司やオードブルなどの会食や、職員による余興、ビンゴゲームなどにて楽しむ。
12/17	介護ロボット等展	東京 TOC 有明にて、福祉用具・介護ロボッ

	示説明会	ト実用化支援事業「介護ロボット等展示説明会」が実施され、職員 3 名が参加し、介護負担の軽減を図る為の介護福祉器具の説明・取扱い方法等の研修を受ける。
12/24	職員紅白歌合戦	職員男女別各 6 組が選出され、カラオケマシンを使用し、競い合う。利用者は、年末の紅白歌合戦の雰囲気を感じえられた。
12/28	餅つき	利用者とともに餅つきを実施し、鏡餅を作る。後日、出来上がった鏡餅を施設内各部署にて飾る。
01/04・14	初詣	01/04 の AM は、施設近辺の長良神社に、PM は、邑楽町の神明宮に初詣に出掛ける。01/14 は、昼食をも含め、佐野厄除け大師まで初詣に出掛ける。
01/06	書初め	創作活動の一環として、希望利用者による書初めを実施する。その後、作品を食堂に展示する。
01/13	利用者新年会	新年を祝い、寄せ鍋を提供する。カレー味・坦々ゴマダレの素・ポン酢醤油の 3 種類の素を用意し、利用者のお好みの味を楽しむ。また、年男・年女の利用者・職員の新年の抱負の披露、職員による余興、カラオケを実施し、楽しむ。
01/15	会計事務説明会(集団指導)	群馬産業技術センターにて、平成 27 年度会計事務説明会が実施され、事務員 1 名が参加する。
01/15～21	ねずみ・ゴキブリ防除作業	調理室・食堂・調理室外周りのねずみやゴキブリの防除作業を実施し、衛生面の向上を図る。
01/26・29	施設内研修	オフィスアドバンスより講師鈴木道子氏を招き、接遇の向上を目的とし、「コミュニケーション

		ョン上手になるための他者理解と自己理解」について講演を実施する。
02 / 01・08	職員検診	夜勤従事職員の定期健康診断を実施し、健康管理を図る。
02/03	節分会	鬼退治ゲームのレクレーションを取入れ、厄払いを含め玉入れの玉やボールを使用し、ペットボトルで作った鬼を倒すゲームを実施。その後、食堂にて、福茶を提供したお茶会を実施する。
02 / 03～04	群療協施設長・事務長・看護・調理会議・身障協ケアガイドライン勉強会	施設長・看護師・栄養士・リハビリ担当者会議では、現在の福祉の情勢や各施設における情報交換を実施し、討議を行う。「2日目には、障害福祉政策の動向と身障協が目指すもの」というテーマにてはくちょう園の川田功二氏が講演を実施する。
02/05	ぐんま環境適合研究会	「車いすシーティング・ポジショニングの評価機器・評価手法」をテーマとして、群馬大学にて群馬大学大学院保健学研究科の亀ヶ谷忠彦氏の講演会が実施され、PT1名が参加する。
02/08	福祉サービス苦情解決セミナー	群馬県市町村会館にて、苦情解決体制の整備の充実をテーマとして、明治大学法科大学院教授平田厚氏を招き、「苦情発生時の初期対応の留意点とポイント」について講演会が実施され、施設長が参加する。
02/10	喫茶会	職員がフレンチトーストを作り、喫茶店の雰囲気を楽しみながら食す。利用者は、フレンチトーストのソース4種類（メープル・キャラメル・チョコ・あんこ）を選択することが出来、楽しむことが出来た様である。
02 / 11・15・17	ゲーム大会	利用者自治会主体にてオセロ大会・ボーリングゲームを実施する。
02/16	市町村虐待防止セ	県社協の障害者権利擁護センターにて、各市

	ンター情報交換会	町村の虐待防止センターの職員が集い、虐待の事例等についての報告や意見交換を実施する。職員1名参加する。
02/16	害虫防除作業	業者にて調理室内外のゴキブリ等の害虫防除作業を実施し、衛生面の向上を図る。
02/17	相談支援従事者専門コース別研修(ステップアップ研修)	群馬県庁にて、相談支援員のステップアップ研修が、「地域相談支援における相談支援専門員等の役割について」をテーマとして、講義とパネルディスカッションが実施され、相談支援員2名が参加する。
02/24	アミューズクラブによる演奏会	音楽活動として、太田市社協登録芸能団体のアミューズクラブ(代表:野原憲作氏)のボランティア3名を招き、ハーモニカ・ギター・尺八による演奏会を実施する。昭和初期の唱歌・歌謡曲・童謡等10数曲の演奏があり、利用者は懐かしんでいた。
02/24	社会福祉施設等施設長・管理者研修	県社協にて、社会福祉施設の大災害時等の危機管理・危機対応の向上をテーマとして、講師2名による講演会が実施される。AMは、(株)浜銀総合研究所の江嶋哲也氏の「社会福祉事業所における事業継続計画(BCP)策定のすすめ」、PMは、群馬県健康福祉課相京慶太氏の「群馬県災害福祉広域支援ネットワークについて」の講演がなされた。
02/24～25	消防用設備点検	業者にて自動火災報知機やスプリンクラー設備・自家発電機等の消防設備の点検を実施する。
03/01	消防署立入り検査	太田地区大泉消防署より職員が来園し、防災機器・設備等を調査・確認・指導を受ける。
03/02	ひな祭り会	02/18に花紙で雛人形を制作し、食堂にて飾るとともに、02/25に雛壇を食堂の座敷に飾る。飾り付けた雛飾りに無病息災を祈念しな

		がら、甘酒や桜餅・雛あられを味わう。希望者は、化粧をしてお雛様・お内裏様に扮し、雛飾りの前にて写真撮影会に参加し、楽しむ。
03/09	アニマルセラピー	癒しの活動として、ドッグトレーニング ELFにて犬4頭派遣し、利用者が犬と触れ合う機会が得られ、精神的な面での安定を図る。
03/12	障害福祉講演会	館林市民会館にて、社会福祉法人館邑会主催の障害福祉講演会に相談支援員3名が参加する。上智大学大塚晃氏を招き、「これからの障害者支援」について講演がなされる。
03/16	防災訓練	夜間に火災が発生したとの想定で利用者がベッド上で待機し、避難訓練を実施し、利用者の生命・財産を守れるように努める。
03/22	障害福祉関係事業者説明会	県民会館ベイシア文化ホールにて訪問系・相談支援・障害児施設の事業所を対象とし、障害政策の状況やサービス提供上の留意事項等について説明が実施される。相談支援員2名参加する。
03/25	介護実習指導者懇談会	大泉保育福祉専門学校にて、介護実習指導者懇談会が実施され、職員1名参加し、介護実習の状況について状況を説明する。
03/30	喫茶会	AM、栄養士が作ったクッキーを、仮装した職員が、各棟の利用者に配り、ミニ喫茶会の形式にて食す。

Ⅱ. 実習生の受入れに関して

(1) 介護福祉士・介護職員初任者実習

学校名	期間	職種	受入れ人数
大泉町 社会福祉協議会	H27/09/03 (1日間)	介護職員 初任者	1名

足利製菓福祉 専門学校	H27/09/07～H27/10/07 (24 日間)	介護福祉士	1 名
専門学校高崎福祉 医療カレッジ	H27/10/19～H27/12/01 (28 日間)	介護福祉士	1 名

(2) 社会福祉士相談援助実習

学校名	期間	受入れ人数
群馬社会福祉専門学校	H27/06/01～H27/07/06 (24 日間)	1 名
群馬社会福祉専門学校	H27/07/06～H27/09/25 (24 日間)	1 名
専門学校高崎福祉 医療カレッジ	H27/07/06～H27/08/31 (24 日間)	1 名
東京福祉大学 社会福祉学部	H27/11/05～H28/01/28 (30 日間)	1 名

Ⅲ. 事業別利用実績に関して

(1) 生活介護

利用延べ人数	稼働日数	稼働率	平均
20,039 人	270 日	97.7%	74.2 人

(2) 施設入所

利用延べ人数	稼働日数	稼働率	日平均
27,116 人	366 日	97.5%	74.1 人

(3) 短期入所 (ショートステイ)

利用延べ人数	稼働率	日平均
577 人	53.2%	1.60 人

(4) 障害者虐待一時保護

保護人数	虐待一時保護期間	その後の対応
1 人	H27/11/20～H27/12/03 (14 日間)	入所まで短期入所を継続中。

Ⅳ. 大泉町相談支援事業に関して

- * 毎週火曜日 (年末年始・祝日は除く) 13:00～16:00 (3 時間)。
- * 大泉町保健福祉センターにて実施。(相談支援員 1 名にて対応)
- * H27 年度実績: 48 日
- * 毎月 1 回、相談支援ケース会議を実施。

- * 館林市外五町自立支援協議会に参加。(隔月開催)
- * 自立支援協議会地域生活支援部会に企画・参加。(隔月開催)
- * 病院や福祉サービス事業所等での支援会議参加、ネットワーク会議等に参加。

V. 特定相談（計画相談）（H27年03月31日現在）

* 特定相談イシノ療護園相談支援事業所利用者数：167名
 （相談支援員5名にて対応：利用等計画作成・モニタリング実施）

① イシノ療護園利用者：76名

- ・イシノ療護園相談支援事業所利用者：74名
- ・他事業所利用者：2名

② ライフサポート・イシノ利用者：32名

- ・イシノ療護園相談支援事業所利用者：22名
- ・他事業所利用者：10名

③ その他の在宅障害者等

- ・イシノ療護園相談支援事業所利用者：71名（障害児3名含む）

VI. 大泉町障害者虐待防止センター（大泉町委託）

* H25年04月よりサービス開始。(相談支援員5名にて対応)

・H27年度：虐待に関する相談件数：通報2件

・H27年度：県権利擁護センター・行政・大泉町虐待防止センター（相談支援員3名）による実地調査実施→虐待認定せず、指導実施（1件）
 警察・行政・大泉町虐待防止センター（相談支援員2名）にて調査実施→虐待と認定→施設にて一時保護実施。→入所に向けてショートステイ利用中。

VII. 保護者会に関して

* 年4回（05月・08月・11月・02月）実施。

* 議題

05/23：定期総会・H26年度事業報告・H26年度決算報告・役員改選

保護者会会則変更・H27年度の事業・サビ管報告・自治会活動報告

08/22：マイナンバー制度・大泉町虐待防止事業・日中活動報告・自治会活動報告・納涼祭

11/21：施設の現状と今後の課題・自治会活動報告・大泉町保健福祉祭

02/27：H27年度補正予算・H28年度予算案・H28年度事業計画・マイナンバー制度・栄養ケアマネジメント・自治会活動報告

VIII. 利用者状況 (H27. 04. 01. 現在)

1. 利用者の障害・障害程度区分

定員	在籍人員	性別		出身地別		障害別			障害支援(程度)区分					
				県内	県外	身体	知的*2	精神*3	3	4	5	6	合計	平均
75 *1 (1)	76	男	46	40	6	46	7	3	0	5	10	31	46	5.6
		女	30	27	3	29	7	0	0	0	6	24	30	5.8
		計	76	67	9	75	14	3	0	5	16	55	76	5.7

* 1: 柔軟枠 1名

* 2: 知的障害者数(療育手帳等保持者)

* 3: 精神手帳保持者数

2. 利用者の年齢構成

以上～以下	～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	平均年齢	最高年齢
男	0	0	1	1	3	2	7	4	8	9	9	2	0	61:01	76歳
女	0	1	0	1	1	5	3	0	3	7	4	4	1	61:09	84歳
計	0	1	1	3	4	8	8	4	13	15	13	5	1	61:04	

3. 利用者の在籍年数

以上～未満	0～1	1～3	3～5	5～7	7～10	10～15	15～20	20～25	25～30	30～	平均在籍年数	最高在籍年数
男	2	5	1	4	7	9	9	0	2	6	13:09	31:02
女	1	4	3	3	2	5	4	3	1	5	14:06	31:02
計	3	9	4	7	9	14	13	3	3	11	14:01	

4. H27 年度のイシノ療護園の入退所

*入所（年齢は H28/04/01 付け）

- ・女性（45 歳）：H27/05/01 入所、支援区分 6：脳性麻痺・知的障がい
- ・男性（55 歳）：H27/05/12 入所、支援区分 5：多発性硬化症
- ・男性（62 歳）：H28/01/07 入所、支援区分 5：脳性麻痺・知的障がい
- ・男性（61 歳）：H28/03/01 入所、支援区分 6：廃用症候群・知的障がい

*退所

- ・男性（61 歳）：H27/04/10 退所：支援区分 6：脊髄小脳変性症、病院にて死亡
- ・男性（72 歳）：H26/04/22 退所：支援区分 6：くも膜下出血、病院にて死亡
- ・女性（66 歳）：H27/12/06 退所：支援区分 6：脳性麻痺、病院にて死亡。
- ・男性（65 歳）：H28/02/10 退所：支援区分 6：脳梗塞、長期入院にて療養病床に移行。

IX. 総括

*イシノ療護園は、開設してから 32 年経過し、利用者の状況も大きく変化している。

利用者の高齢化（加齢化）に伴い、心身機能の低下が進行しており、体調不調による通院・入院も多くなっており、重度化し、状況によっては、病院にて死亡するケースや、長期入院による療養型病床や介護保険適応等により退所することも見られてきている。

利用者の障害に関しては、身障者の入所者数は減少しており、逆に、知的障がいや精神障がい（精神症状）、難病を有するケースが増加し、障害の多様化の傾向が見られている。

そのような施設利用者の状況の変化（高齢化・重度化・多様化）に対応出来る様、支援体制や支援方法の見直しが必要とされている。H28 年度より、利用者の障害・心身状況・社会性等の状況に応じて利用者の編成の見直しを実施し、棟毎の支援の運営（ユニットケア式等の運営）の試み、個別支援の充実が図られる様、試行錯誤している。

*太田市・館林市・邑楽地区を中心に相談支援（計画相談）を実施しているが、身障の相談件数が少なく、精神障がい・知的障がいの相談件数が多い状況である。身障者に関しては、介護保険の利用、リハビリの進歩・在宅サービスの増加・充実等にて在宅での生活が可能となり、施設入所に結びつくことが少ない。精神障がい者にとっては、一般就労に結びつくことが出来ず、就労や生活全般に関しての相談が多い。就労系のサービスの利用の傾向がある。知的障がいに関しては、特別支援学校を卒業後は、就労系のサービス利用を希望するケースが多く、通所生活介護を利用とするケースは少ない。また、知的障がい者の家族は、親亡き後の住処をグルー

プホームや知的障がい者の入所施設への利用を望んでいることが多い。なお、知的障がい者の入所施設は、東毛地区では数少なく、グループホームも少ない状況であり、入所施設の待機数は多い状況である。今後、大泉町内に知的障がい者のグループホームが新たに出来るという情報があるが、その施設が出来たととしても充足されない状況である。

現状の入所利用者や計画相談の状況を見ると、知的障がい者で身体機能が低下（胃ろう造設等も含め）したケースや、精神障がい者を伴った身障者、知的障がい者の入所施設の待機者が、イシノ療護園に入所するケースが増加してくると予測される。その為には、最近の福祉の流れに沿い、地域のニーズを充足出来る様な施設の体制を構築していく必要があると思われる。